

## 花背モニタリング 4月報告

日時：2021年4月20日（火）

場所：花背別所 HANA-Re

天候：快晴

参加者：8名 川勝（主催者）

当日は青空の広がるいい天気。峠を越えて花背に入ると満開の桜が次々と目に飛び込んできました。市内との気温差を実感します。2度目のお花見を堪能しながら現地に到着。

午前中は、特定外来生物オオハンゴンソウ駆除活動についての会議です。地元地域代表の方々に加え、京都府自然環境保全課と京都市左京区地域おこし協力隊の職員の方々が参加されました。清水さんからこれまでの経緯や他地域での取り組みについての紹介があった後、今後の方針を話し合いました。オオハンゴンソウについて周知することが、第一ではあるが、ただ駆除するというだけではなく、これまでの調査で見えてきた花背の豊かな植生を守るためにも大切なことであるという認識のもと、方法については試行錯誤しながら取り組むことになりました。

会場だった花背出張所の前にはたくさんのかわいい花が。あちこちから顔を出すショウジョウバカマ、ウエスト?のくびれたミヤコアオイ、群生するトキワイカリソウ、ウスギヨウラクなどなど。みなさん写真を撮るのに大忙しでした。



山の入り口の大きなヤマナシ



エンレイソウ



トキワイカリソウ



ウスギヨウラク



ヤマエンゴサク

「HANA-Re」に移動して昼食を取った後、家の周り、山、谷、畑の順に調査を開始。詳細はデータ報告があると思うので印象に残ったものだけ紹介します。庭の池の周りは株が増えたクリンソウが咲き始め。大輪が美しいホンシャクナゲは一部シカに食べられ丸坊主のようになっていました。セリバオウレンの風車のような果実、ひっそりと咲くエンレイソウ、そこからじゅうにヤマエンゴサクの花、山の入り口には白い花が開き始めたヤマナシ。倒れた幹からたくさんの枝を伸ばすゴマギ。法面に咲くシハイスミレの紫色が美しい。薄暗い谷の中に浮かぶオオカメノキの白い花ははっとするほどきれいでした。

春の遅い花背ですが、山道の足元には獲物を狙って忙しく左右に頭を動かすヤマビルがすでにわんさか！次回参加の方は長靴がオススメです（岡）



谷での観察の様子



ショウジョウバカマ



クリンソウ



ゼンマイ 3兄弟



お饅頭のようなキノコ  
(ホコリタケの幼菌)



タチツボスミレ



オオカメノキ



後日道の駅で買った  
ヤマナシの花